

日本地震学会2018年度秋季大会 一般公開セミナー

甚大な地震津波被害を 繰り返さないために

～私たちが出来ること

2018年

10/8 月 祝

【体育の日】

13:00-16:00

(12:30開場予定)

中央公民館・勤労青少年ホーム
多目的ホール

郡山市麓山一丁目8-4

郡山駅11番線「郡山中央図書館」下車徒歩3分

東日本大震災発生から7年半経過した現在も東北地方などで活発な地震活動が続いています。地震や津波について最新の研究によって分かったこと、依然として分からないことについて、分かりやすく解説します。また、防災の最前線でどのような防災情報が生成され、活用されているのか、わたしたちはその情報などをどのように利用し、活かせるのか、研究と行政の立場からの講演を行います。



東北地方の地震活動とその特徴

長谷川 昭

(東北大学名誉教授)

地質から読みとく巨大地震・津波の歴史

宍倉 正展

(産業技術総合研究所 海溝型地震履歴研究グループ長)

普段から気にする情報、災害時に気にする情報

臼田 裕一郎

(防災科学技術研究所 総合防災情報センター長)

郡山市における防災対策について

熊田 重美

(郡山市総務部防災危機管理課 防災係長)

【背景の図】

東日本で発生した過去5年間の地震の分布。赤色が浅い地震を表します。震源が深くなるにつれ、黄→緑と変化します。

<http://www.hinet.bosai.go.jp/topics/ThreeJS/>

同日午前(10月8日(月;祝)10:00~)に、同じ館内で

「地震の教室(親子向け):地震計を作って、ゆれを測ってみよう!」

「地震の教室(教員向け):小中高の授業ですぐに使える地震を教える教材紹介」

が開催されます。親子向けは事前申込制。詳細は <http://www.zisin.or.jp/pub/> をご覧下さい。

【お問合せ先】公益社団法人日本地震学会 事務局

E-mail: [zisin\[at\]tokyo.email.ne.jp](mailto:zisin[at]tokyo.email.ne.jp) ([at]を@にかえてください)

【主催】公益社団法人日本地震学会 【後援】郡山市・郡山市教育委員会

本セミナーは、JSPS科研費JP18HP0011の助成を受けています

